

# 工学部・工学研究科の学生・教職員で感染の疑い又は同居者の周辺で陽性者やクラスターが発生した場合の対応フロー

令和3年2月1日作成

◀ 本人または同居者が感染の疑い、あるいは所属先(研究室・部署等)で陽性者やクラスターが発生！ ▶

<学生・教職員本人(以後、「本人」という)>

◎登校・出勤を控え、まずは自宅待機(その間はオンライン授業やテレワーク)！

(1)本人または同居者の感染の疑い、あるいは所属組織で陽性者・クラスターが発生したことを大学に連絡(※)

※大学の連絡フォーム [https://www.eng.tohoku.ac.jp/news/detail\\_-id,1602.html#covid19](https://www.eng.tohoku.ac.jp/news/detail_-id,1602.html#covid19) (グーグルフォームでの回答)

■学生 → 上記報告フォームのほかアドバイザー・教員(指導教員)に必ず連絡

■教職員等 → 上記報告フォームのほか所属研究室・所属部署の上司に必ず連絡

(2)同居者が「A'」～「E」のいずれに該当するか確認できた段階で、再度大学へ連絡し(※)、以後の対応を相談・確認

(3)直近2週間の行動履歴、接触者及び健康状況を整理し、保健所や大学から求められたときの情報提供に備える

E : 同居者  
(PCR受検なし・体調良好)  
「非・濃厚接触者」  
↓  
登校・出勤OK

A : 本人「陽性」

B : 同居者  
(PCR受検・予定)  
「濃厚接触者」

C : 同居者  
(PCR受検・予定)  
「非・濃厚接触者」

D : 同居者  
(PCR受検なし・体調不良)  
「非・濃厚接触者」

A' : 同居者「陽性」

同居者のPCR検査等の結果判明

<本人>  
「濃厚接触者」

<本人>  
「非・濃厚接触者」  
で体調良好  
→登校・出勤OK  
陽性者との最後に  
接触した日から1  
4日間健康観察

・「陽性」

<本人>  
登校・出勤不可  
(陽性者との最後の接触日の翌日  
から14日間自宅待機・テレワーク)  
→登校・出勤の時期は  
下記<留意事項>を参照

・「陰性」(濃厚接触者)

<本人>  
登校・出勤OK  
(同居者の体調不良  
など心配な場合、数  
日間の自宅待機・テ  
レワーク推奨)

・「陰性」  
(非・濃厚接触者)

<本人>  
登校・出勤OK  
(同居者の体調不良  
など心配な場合、数  
日間の自宅待機・テ  
レワーク推奨)

・同居者の体調回復  
後、本人の体調良好

<本人>  
登校・出勤OK  
(心配な場合は、数日間の  
自宅待機・テレワーク推奨)

・「陽性」  
登校・出勤不可  
→保健所等からの  
指示内容、現在の  
体調、今後の予定、  
直近2週間の行動  
履歴等を大学に報  
告。以後、保健所等  
の指示に従い対応。

・「陰性」  
登校・出勤不可  
→陽性者との最後の  
接触日の翌日から  
14日間自宅待機・  
テレワーク  
→登校・出勤の時期  
は下記<留意事項>  
を参照

<留意事項>

■同居者が陽性の場合の本人の復帰(登校・出勤)時期(いずれも本人の体調が良好であることが前提)

◎陽性となった同居者が入院した場合 → 最後の接触日の翌日から14日間の自宅待機(健康観察)後

◎陽性となった同居者が無症状・軽症で引き続き同居の場合

→ 同居者が医師や医療機関より治療したと認められた日の翌日から14日間の自宅待機(健康観察)後

■このフローに記載がないケースへの対応など、判断が難しい場合は、eng-covid19@grp.tohoku.ac.jpまで。

■学生・教職員本人が体調不良等の場合は、別フローも参照してください。

・「工学部・工学研究科新型コロナウイルス感染症対策(体調不良者等)フロー図」